

花火ダイアリー 6



ぎふ長良川花火大会実行委員会事務局

森島 悠

応援席の「実は…」

早いもので、「第2回ぎふ長良川花火大会」から、すでに2か月が経ってしまいました。

現在、実行委員会事務局では、今年の花火大会を振り返り、皆様から様々なご意見をいただきながら、来年の花火大会についての検討を重ねていくところです。

改めまして、「第2回ぎふ長良川花火大会」を、皆様どこで楽しめましたか？

今年の花火大会は、新たにペアシート、ファミリー席、リクライニングシートの特徴的な3つの席種を追加し、さまざまなシーンで楽しんでいただけるようパワーアップしました。いかがでしたでしょうか。

昨年より有料化して再スタートしたぎふ長良川花火大会ですが、実は、有料席の席種や定員は無限に増やせるわけではありません。そこには会場となる長良川河川敷の広さに限界があることも挙げられますが、何より「長良川特有」の自然的要素に大きく起因することがあります。それは「ダム」がないこと。ダムのない長良川では、上流で大雨が降った際、川の水位が急激に上がる可能性があるのです。そのため、撤去までに時間がかかるような施設や華美な設えをすることが難しく、必要最低限の設備しか設置できないという制約があります。よって、観覧席を河川敷エリア一杯に設置してしまうと、有事の際、避難誘導に時間がかかり大きな事故につながりかねないのです。

そのなかで事務局では、より多くの方に安心・安全に花火を楽しんでいただけるよう、様々な事態を想定して有料席の定員数を決定しています。その上で、「花火+α」の付加価値や体験価値を上げる企画を考え、取り組んでいます。そのひとつが今年から導入した新たな3種類の指定席です。その他には、昨年より企画している「先行入場券付き自由席」があります。これは、通常17時から入場のところを1時間早く入ることができる副券を付けたもので、エリア内で自由に観覧する場所を選べる自由席において「なるべく早く自分の絶好の場所を探し確保したい」というニーズに応えたものになります。大型テーマパークの「ファストパス制度」に着想を得たもので、1時間早く入れるという「付加価値」を500円で提供させていただき、大変好評を得ています。

このように、ぎふ長良川花火大会は今後もいろいろな制約のもと、付加価値を高める工夫を凝らした企画をより多く提供できるよう進めてまいります。

皆様方からの引き続きの熱いエールを励みにがんばります。どうぞよろしくお願いいたします。